

めぐりと紫波

紫波企業の森づくり活動

町では、企業や森林所有者、関係機関と協定を結び「紫波企業の森づくり活動」を行っています。木材価格の低迷や後継者不足が原因で、森林の荒廃や林業の衰退が問題となる中、現在、7つの企業・団体が参加しています。活動内容は、各企業によって異なりますが、これまで多くの人たちが活動に携わってきました。

今号では6月14日(土)に開催された盛岡信用金庫の活動の様子を紹介します。



盛岡信用金庫による企業の森づくり活動は2011年から15年間の協定を結んで、毎年6月15日の「信用金庫の日」にちなんだ取り組みとして開催しています。今年は水分小屋敷地内の山林で新入職員など約40名が参加して行われました。



森林整備団体があらかじめ伐採、玉切りしておいた木材の搬出作業をしました。

この活動は、企業にとっては社会貢献や社員の福利厚生、地域にとっては森林整備の促進や雇用の創出といった利点があります。

また、企業と地域の交流による農山村地域の活性化が期待できます。運び出された間伐材の一部は、チップに加工され、町庁舎、オガールエリアなどの木質バイオマスのエネルギーとして活用されています。



◆企業の森づくり活動へのご理解と参加する企業を募集しています◆

紫波町では、企業や森林所有者、関係機関と協定を結び、森林を整備する活動を実施しています。

【それぞれの役割】

森林所有者:活動森林の無償提供

紫波町:活動に関する支援、協力

企業・団体:森林整備費の提供や職員の参加調整

関係機関:町・森林所有者(地域)・間伐業者とのコーディネート

森づくり活動に関心をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】NPO法人紫波みらい研究所 電話019-671-2244



町は、2000年に開催した環境新世紀イベントで「紫波の環境を100年後の子どもたちによりよい姿で残し伝えていきます」という「新世紀未来宣言」を発表しました。環境団体で組織するしわエコ連絡会は25年周年の節目に、紫波町産業まつりで「環境新世紀25周年・しわエコまつり」を開催します。
これまでの取り組みを振り返りながら、「未来に残したい紫波町」をみんなで考えてみましょう。

環境新世紀25周年

しわエコまつり in 紫波町産業まつり

2025年

日時: **10月18日(土) 10時～16時**
19日(日) 9時～15時

場所: **サンビレッジ紫波**

「新世紀未来宣言」

日本文化の源流は農村の山ひだにありました。
森の中から水が湧き、人々は集い、
集落を形成し、自然と共存し、
自然を崇拝してきました。
厳しい自然に耐えた集落には、
先人の知恵の結晶ともいべき
生きるための哲学があり、
連綿と伝えられてきました。
モノを粗末にすることは、
すなわち生命(いのち)を粗末にすることにつながります。
モノを大切にすること、生命を育むところ、
郷土の文化と伝統を伝えていくところを
百年後にも引きついでいきます。
母が見た風景を、浴びた陽の光を、
感じた風を、清冽な水を、
そして紫波の環境を百年後の子どもたちに
よりよい姿で残し伝えていきます。

2000年6月2日発表

映像で振り返る
25年間の取り組み
あの頃の私が見つかるかも？

これ！私が撮った写真！！

2004年5月にこどもたちが撮影した
「こどもたちが撮った(紫波町)身近な自然
の写真展」の写真67点を展示します。
私が撮った！と思われる方、写真をお渡し
しますのでぜひ会場へいらしてください。

捨てるもので おもちゃを作って遊ぼう！

ヨーグルト空容器でけん玉
紙コップ風船・ペットボトルの輪投げ

リメイク作品の展示

着なくなった着物などが洋服
や小物に生まれ変わります。

ごみの分別クイズに挑戦！

こどもから大人まで、楽しみながら
紫波町のごみの分別をまなびます。

きれいな水を守ろう

ダムの役割を知る
水を汚さない仕組みを知る
コネコネマイ石けん作り

「未来に残したい紫波町」
を葉っぱに書いて
紫波町の木を作ろう

その他たくさんの展示や
体験を用意しています

主催: しわエコ連絡会(紫波町環境衛生組合連合会・環境マイスター紫波・NPO 法人紫波みらい研究所)
共催: 紫波町 協力: 紫波町連合婦人会・山王海土地改良区